

一 般 質 問

1 町職員の業務量や健康管理は

答弁 逐次適正に取り組んでいる

より平準化に努めている。



むこうま あつひろ
向山 篤宏 議員



録画配信中

質 問

非正規職員の勤務時間が短縮され数年が経過している。今、正規職員の負担は増えていないのか。また、正規職員の事務量は平準化されているのか。

● 答 弁

磯野副町長

職場からは支障があるとの報告はなく、正規職員の業務量が特に増えたとは認識していない。職員の業務量は、課内での業務の割り振りや職員間のサポートに

質 問

非正規職員（パートタイム職員）の勤務時間は、75分短縮されたが、時間内で事務をこなすために勤務時間をオーバーしていることはないか。

● 答 弁

磯野副町長

非正規職員は、通常においては決められた時間内の勤務となっている。

質 問

職員の健康調査の為にストレスチェックを行っており、問題があれば衛生委員会により対応をしているが、相談体制は機能しているか、また、相談件数はどの位あるのか。

● 答 弁

磯野副町長

衛生委員会は、保健師、職員、職員組合の代表者か

らなり、定期的を開催しており、職場巡視やメンタルヘルス研修にも取り組んでいる。相談件数は令和5年度には12回あった。

2 今後の有害鳥獣対策は

答 弁 猟友会等と連携し取り組む

質 問

令和5年度の有害鳥獣の捕獲頭数は。

● 答 弁

岸本産業振興課長

シカ、イノシシ、サル及び小動物の合計では、令和2年度は1359頭、3年度は1295頭、4年度は、1895頭、5年度は6年2月末現在1298頭である。

質 問

大型サル捕獲檻の成果と今後の有効な活用策は、また今後の有害鳥獣対策は。

● 答 弁

岸本産業振興課長

令和2年度の設置年度に

は木岐でサル15頭を捕獲し、その後令和4年度に檻を2基追加設置したが、田井地区で2頭の捕獲に止まっている。現在、檻の管理は職員が行っているが、今後は猟友会へ委託することも検討したい。また、サルについては、有効な複合柵の推進を図るとともに、有害鳥獣対策は猟友会や農業者とも連携を取りながら対策に取り組みたい。



捕獲の様子



誘因餌設置状況

一 般 質 問

① J R 牟岐線 存続の住民意見集約は

答弁
住民への意識調査は白紙



きたやま あさひこ
北山 朝彦 議員



録画配信中

質問

新聞によると、本年2月26日、知事と県南部5市町の首長が意見を交わしたと聞く、その内容と会の雰囲気は。

●答弁 影治町長

会のテーマは、①「徳島南部・阿南安芸自動車道の整備促進」と②「公共交通（県南部）の維持充実」で意見交換した。

私の記憶では、①は、南海トラフ巨大地震や豪雨災

と町民の意識調査を始めては。

●答弁 影治町長

J R 牟岐線の廃線は、絶対にはならないと考える。住民の意識調査の件は、まだまだ全然白紙である。

② 志和岐住民の移動手段改善は

答 弁
高齢者タクシー助成事業の活用を

質問

阿南バス路線廃止後、志和岐住民には、美波病院連絡バスが唯一の移動手段である。

美波病院連絡バス運行表

の美波病院行きを見ると、志和岐漁協前出発便は3便、大池橋由岐側からは6便、西由岐公民館からは4便、由岐駅からは5便ある。

帰りの便は、志和岐漁協

前着は3便、大池橋由岐側着は8便、西由岐公民館へは直接便が4便と經由便が4便の計8便、由岐駅へは直接便が3便と經由便が4便の計7便で、志和岐地区住民の利便性の悪さが分かる。改善策は考えられないか。

質問

●答弁 浜総務課長
運行体制が日和佐地区、由岐地区それぞれ1台の運行で完璧ではないが、毎年見直している。また、70歳以上の高齢者の方には、高齢者タクシー助成事業も利用できるが、思う時間には利用できないのが実態だ。

●答弁 浜総務課長

志和岐漁協前と大池橋由岐側の区間だけ、送迎便を増やせば利便性の改善になると思うが検討できないか。完璧でないのは感じていて、高齢者タクシー助成事業を併用活用いただきたい。

令和6年3月16日から
日和佐診療所・美波病院連絡バスの
時刻表が変わります。
皆様、お気軽にご利用ください。

日和佐診療所・美波病院連絡バス運行表
乗降場所、出発時刻は次のとおりです。運行日は、月曜日から金曜日(祝祭日及び年末年始は運休)です。

令和6年3月16日開始

●日和佐地区				
日和佐駅	美波町役場	北河内駅	日和佐診療所	美波病院
7:45	→	7:50	→	8:00
			→	8:15
9:20	→	9:25	→	9:35
			→	9:50
10:50	→	10:55	→	11:05
			→	11:20
12:50	→	12:55	→	13:05
			→	13:20
14:50	→	14:55	→	15:05
			→	15:20
16:10	→	16:15	→	16:25
17:05 着			→	17:00
			→	16:45

●由岐地区				
志和岐漁協前	大池橋東由岐側	西由岐公民館	由岐駅	美波病院
7:30	→		→	7:45
			→	8:05
	8:10	→	8:15	→
			→	8:20
			→	8:35
	9:25	→	9:30	→
			→	9:35
			→	10:20
10:30	→	10:35	→	10:40
			→	11:00
			→	11:15
			→	11:20
	11:25	→	11:30	→
			→	11:35
	13:10	→	13:05	→
			→	13:00
13:15	→		→	13:15
			→	13:30
	14:35	→	14:40	→
			→	15:00
			→	16:05
	16:15	→	16:10	→
			→	16:00
17:10 着	→	17:05	→	17:00
			→	16:55
			→	16:45

※各乗降場所には表示看板を設置しています。
【お問い合わせ先】 役場総務課 ☎77-3611

一 般 質 問

1 要配慮者避難計画はあるのか

答 弁 避難支援の協定書を締結し進める



こ べ 小部 ひろまさ 博正 議員



録画配信中

質 問

美波町地域防災計画の第7節にある、自力での避難が困難な「要配慮者」や「避難行動要支援者」を円滑かつ迅速に避難させるための計画は、どのように実態把握を図り、またその情報はどこまで共有されているのか。

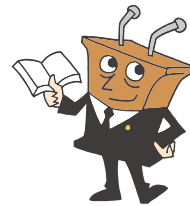
● 答 弁 大三福祉課長

現在、障がい者・介護保険担当、保健師などの関係機関からの情報を得て、「美

波町避難行動要支援者名簿」の整備と「個別避難計画」の作成を行っているが、コロナ禍や個人ごとの諸事情もあり、進んでいないのが現状。避難支援者への情報提供に関する同意と、避難支援に関する協定書の締結を得た分の名簿は、町内会や自主防災組織などの避難支援者に提供される。



美波町地域防災計画第7節には、高齢者や障がい者、乳幼児など、災害対応能力が弱い「要配慮者」への支援対策の充実が記されており、その支援体制と整備のための要支援者名簿や、個別避難計画の作成などが定められています。



2 災害時の生活用水は確保できるのか

答 弁 飲料水兼用耐震性貯水槽の設置などを進める

質 問

災害時の給水体制の整備として、飲料水の備蓄、運搬、給水、貯水等は図られているが、長期断水時など1日につき1人当たり10リットルから20リットル必要とされる「生活用水」の確保は、どのように図られているのか。

また、生活用水としての「井戸」の活用や整備を進める計画はあるのか。

● 答 弁 住田水道課長

防災拠点施設や避難所の付近に、給水拠点となる「飲料水兼用耐震性貯水槽」の設置を進め、浄水装置や緊急遮断弁などの措置を検討する。耐震更新した各配

水池に関しては、既に緊急遮断弁を取り付け生活用水の確保を図っている。町内の井戸に関しては、現時点で把握できてはいないが、災害時の井戸活用も検討していく。



防災時の水源として注目される井戸

一 般 質 問

1 美波町業務継続計画の進捗は

非常時の災害対応業務を決めた



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信中

質 問

美波町防災計画、第9節の美波町業務継続計画について、重要な要素はどこまで進んでいるか。仮設住宅の建設をどう進めるのか。

● 答 弁 前野消防防災課長

町長不在時は、副町長、教育長、総務課長と順次定めている。

本庁舎が使用できない場合、日和佐中学校を対策本部とする。

役場は非常用発電機を整

備しており約55時間の電源確保、由岐支所10時間、医療保険センター3日、美波病院30時間、日和佐中学校はLPガス発電機を整備しており、給食センターの燃料を活用すれば約900時間の電源確保。水、食料は日和佐中学校に備蓄している。

防災行政無線で県との通信を確保している。また、町の防災行政無線を整備し、町内各施設、消防団、自主防災会に配布している。衛星電話を美波町役場に2台、美波病院に2台、赤松防災拠点施設に1台、日和佐中学校に1台配布。

行政データは、役場2階のサーバー、県外のデータセンター等に保管している。非常時優先の災害対応業務を定めている。

非常時優先の災害対応業務を定めている。

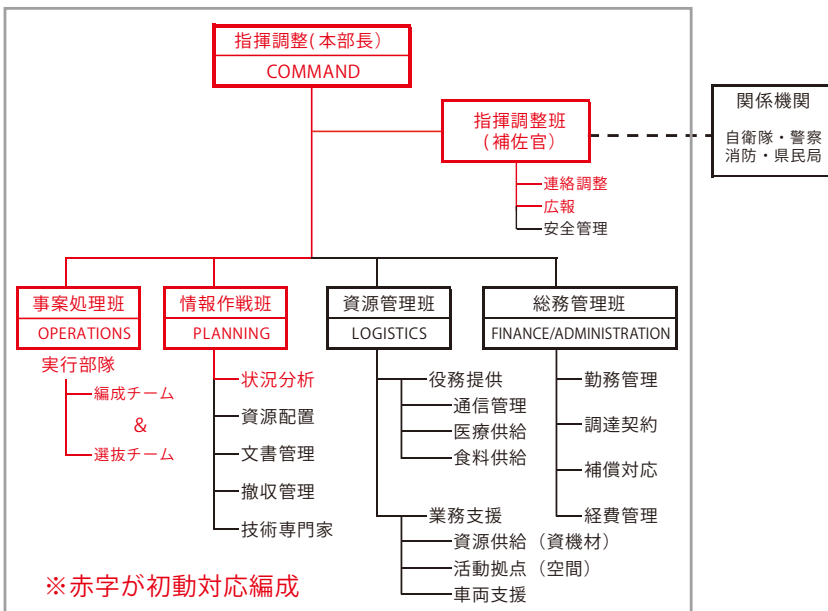
● 答 弁 磯野副町長

応急仮設住宅用地は、公有地、国有地、企業等の所有地の順に選定し、上下水道、ガス、電気等の生活関連設備の整備状況等にも配慮する。

災害発生から20日以内に着工と定められている。候

補地として町、県有地を27ヶ所、12万平方メートル、1200戸分をリストアップしている。大規模災害時には、瓦れき仮置き場、遺体安置所、応援部隊の活動拠点も必要で、民有地も

考える。高台防災公園に、380戸が建設可能。



非常時優先業務と実施体制

2 医師や看護師の確保策は

個別交渉などを行う

質 問

病院の医師や看護師の確保をどうするのか。2つ目は、看護師や職員の異動状況はどうなのか。

● 答 弁 島村病院事務長

徳島大学の医局や徳島赤十字病院、阿南医療センター、県立海部病院などに、年1回から2回、町長と日和佐診療所事務長と私が訪問し、派遣の依頼。個人の医師に対しての交渉、徳島県医師会のドクターバンク、徳島県の徳島医師バンクへの求人掲載も行っている。看護師も新聞折り込みや町内放送、広報誌による採用募集、求人掲載とともに、個別交渉など行っている。

一般質問

①終活支援の取り組みを

答弁 無縁遺骨は協力寺へ埋葬



ひろし 博 議員
えびすの 戒野



録画配信中

質問

単身世帯の増加で「孤独死」や連絡がつかない「無縁遺骨」が増えている。当町での実態数及び、引き取り手がない「無縁遺骨」の実態は。親族へ連絡がつかなかった遺骨保管の処置、無縁墓への合同埋葬の考えは。「終活支援」取り組みとして情報登録カードの作成、見守りキーホルダー配布など町と事業者が連携して取

り組めないか。

遺骨焼却灰を貯めて金属類を入札・売却している自治体が多いが、当町でも有効利用できないか。

●答弁 大三福祉課長

本町における人数は把握していないが行旅死亡人は過去5年間にない。町が埋葬または火葬を対応したのは過去5年間で1件で、生活保護者の葬祭補助は、過去5年間で3件。無縁墓への合同埋葬の構想はない。地域包括支援センターが終活講座でエンディングノート作成支援を行っている。成年後見相談を行っている。登録カード等は考えていない。

●答弁 寶木住民生活課長

火葬後の遺骨灰に含まれる有価物は委託業者に年一

回収取り適切に処理。遺族感情に配慮し売却は行っていない。

②えびす津波避難タワーの風雨対策を

答弁 雨戸等は建物構造の大きな変更は難しい

質問

高齢者の多い日和佐浦地区において地震・津波避難場所のえびす津波避難タワーは電気、水道、トイレ設備もなく厳寒期に風雨が開口部から侵入し、低体温症で命を失いかねない。

はないか。

●答弁 前野消防防災課長

えびす津波避難タワーは避難困難地解消のため平成31年（二〇一九年）3月末に整備。事前の意見交換会、アンケート調査等により避難場所として計画案を提示。

ので、利便性、安全性、保守性、整備費財源性からビニールカーテンによる風雨対策で人命軽視になることは決してない。要望の階段室、周囲のシャッターは出

これまでも住民署名や再三の要請で、ビニールカーテンでは開口部から雨風が入るため、引き戸式の雨戸対策の改善を要望している。黒潮町など他市町村の避難タワーの殆どが居室化し、風雨が入らない構造になっている。人命軽視、災害関連死とならないよう屋上からの雨水侵入防止と開口部への雨戸設置を行うべきで

他県の事例を元に壁で囲ったものとしてほしいとの要望もあつたが施錠の日常管理問題があり、ビニールカーテン工事で風雨対策を施している。引き戸を設けることは建物構造に大きな変更を伴う



浸水する開口部からの雨